

石仏を彫ってみよう「石彫り体験ワークショップ in五百羅漢」

五百羅漢石仏群に代表されるように、市内各地にはさまざまな年代に作られた多数の石仏が点在しています。長年にわたって受け継がれた石工の伝統的工法を学び、ミニ石仏づくりを体験してみませんか。制作後、展示会も予定しています。



高さ 30 cm・幅 10 cm。ノミと金槌を使って石を彫り制作。

- 日時／1月13日～2月17日の毎週火曜日 9:00～12:00 全6回
- 場所／加西市埋蔵文化財整理室（北条町古坂 1-23）
- 対象／全講座を受講できる18歳以上の方 ■講師／師仰の会うえはら
- 定員／10人※応募多数の場合は市内在住者および未経験者優先 ■参加費／500円（全6回分）
- 申込方法／12月19日（金）までに申込用紙（市ホームページ）を郵送または持参、メールで申し込みください。

【申込・問合せ先】 五百羅漢保存委員会事務局（商工観光課内） ☎④8740 FAX④1802 shokokanko@city.kasai.lg.jp

「フォトコンテスト」&「秋空に浮かぶ熱気球の絵」を展示

■ふるさと加西（秋）フォトコンテスト

9～11月までに撮影されたふるさと加西の写真を展示します。皆さまの投票により上位5作品を決定します。投票していただくと、抽選で「ねっぴ～ぬいぐるみ」をプレゼント。
 期間／11月28日（金）～12月7日（日）9:00～17:00
 場所／アステリアかさい3階交流プラザ

■秋空に浮かぶ熱気球

「熱気球体験」（10月19日、玉丘史跡公園）に参加した子どもたちが描いたスケッチを展示（左記と同じ）します。



熱気球体験


■ワークショップ「手作りの小さな熱気球を飛ばしてみよう」（無料）


ゴミ袋（45ℓ）を使って気球を作り、ドライヤーで風を送ると、20mの高さまで気球が飛びます。
 日時／12月7日（日）13:00～15:00の間（30分程度） 場所／アステリアかさい3階集会室 定員／100人（予約不要）

【問合せ先】 観光まちづくり協会（商工観光課内） ☎④8740 FAX④1802 shokokanko@city.kasai.lg.jp

ねっぴ～&7ドッキー博士の風土記の里をたずねて


■第13回 玉丘古墳と根日女（ねひめ）伝承 その3


 今回も玉丘古墳と根日女伝承ですね。播磨国風土記の中で、根日女に求婚した意奚（おけ）、袁奚（をけ）ってどんな人なんですか。


 意奚は後の24代仁賢天皇、袁奚は後の23代額宗天皇で、2人は兄弟なんじゃ。この意奚、袁奚については、風土記の美囊郡志深の里の中にも、2人が志深の里の石室に住んでいたとの記述があるんじゃ。





志深の石室（三木市）

 三木市には石室が今も残ってますよね。風土記どきどき！それじゃ根日女はどんな人だったんですか。

 根日女は国造の許麻（こま）の娘と書かれておるので、この地方を治めていた豪族許麻という人の娘ということになるのよ。

 でも根日女は、2人の皇子に求婚されたものの結婚することなく死んでしまったんですね。なんだか根日女ってかわいそうな人ですよ。

 じゃがな、ねっぴー。根日女の名は、根日女ロマンの郷（玉丘史跡公園）、根日女ホール（アステリアかさい）、根日女のかげやき（お米）、根日女みどり（甘とうがらし）、ねひめとき（漫画）など、数多くの施設や品物に付けられており、長い年月を越えて多くの加西市民に愛されておるんじゃ。

 そうですね、博士。これも根日女の伝承を播磨国風土記が今に伝えてくれているからですよ。

問合せ先／播磨国風土記1300年事業推進室 ☎④8756

KASAI データバンク 人口／45,956（－27）|男／22,330（－15）|女／23,626（－12）|世帯数／17,212（＋32）
 H26.10.31 現在（前月比） 10月の出生数／22人 死亡数／42人 ■12月10、24日は市民課窓口を延長（17:15～19:00）

■加西市ホームページ <http://www.city.kasai.hyogo.jp>
 ■加西市の市外局番は0790です。誌面では省略しています。

発行／加西市
 〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790④1110(代)
 編集／加西市ふるさと創造部秘書課 ☎0790④8701 FAX0790④0291